

MY行動宣言の活用について

MY行動宣言の概要

2030生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF/会長：経団連会長、事務局：環境省)が推進する生物多様性の普及啓発ツールの1つ。これまでの宣言数は約26万件。

目的：将来にわたって、生物多様性のもたらす恵みを受けていくために一人ひとりが生物多様性との関わりを身近な生活の中で実感し、行動してもらう。

内容：5つのアクションの中から自分にできそうなアクションを選んで宣言する。

5 アクション

Act 1	じもと た 地元でとれたものを食べ、旬のものを 味わ います。	<input type="checkbox"/>
Act 2	しぜん なか で どうぶつえん すいぞくかん しよくぼつえん 自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものに ふれ ます。	<input type="checkbox"/>
Act 3	しぜん すばり さゆり 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで 伝 えます。	<input type="checkbox"/>
Act 4	いきもの しぜん ひと ぶんが 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に 参 加します。	<input type="checkbox"/>
Act 5	エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで 買 います。	<input type="checkbox"/>

参考（第3回行動変容WG資料引用）： MY行動宣言改訂に関する今後の論点整理

- MY行動宣言については、「内容」と「活用方法」の両方の視点があるが、当面は「誰にどう使ってもらうか、その後どういった行動を期待するか」という「活用方法」に重点を置いて議論・検討することとしたい。
- 内容の見直しに関しては、活用方法の議論の後に、必要に応じて検討することとする。なお、見直しを検討する場合はCOP15-2（12月）で策定される新たな枠組みや3月策定予定の新たな国家戦略の内容も踏まえる。
- 活用方法の検討については、6月のWSでいただいた意見も参考に、来年度は活用アイデアを実践してみることにする。
 - （例）
 - ・ 宣言後もLINEやSNS等で定期的なリマインドする
 - ・ 商品のPRに使用していただく等、企業のマーケティング活用
 - ・ 地域やSC等でスタンプラリーのように宣言に応じた場所を回り実際に体験し、スタンプラリー達成で割引等のインセンティブをもらえる
 - ・ アクションに応じた割引制度（例：ふれよう／動物園の割引券）を実施
 - ・ イベントでの活用時はハッシュタグで宣言ができるようにする

→ 本WGでも、ぜひご意見をお聞かせください。

9

参考（第3回行動変容WG資料引用）： MY行動宣言の活用事例（11/5, 6 GTF）

- 11/5,6に開催されたGTFグリーンチャレンジデー2022@新宿御苑において、環境省・自然環境課のブースで、バイオーム様のアプリとコラボした「いきものクエスト」を実施。クエスト達成&MY行動宣言で景品をお渡しする企画を行った。



BIOME グリーンチャレンジデー特別クエスト 新…

ルール ガイド 達成状況

残り 0日8時間28分

MY行動宣言をしよう!

クエストを達成された方にはオリジナル景品をご用意しています！ブースに戻ってMY行動宣言をしていただいた方にお渡しいたします。

※賞品のお渡しは、無くなり次第終了とさせていただきます。ご了承ください。

クエストを達成すると、以下のように、クエストのルールページに達成バナーとMY行動宣言へのリンクが表示されます。

いきものクエスト もっと具

グリーンチャレンジデー 2022
新宿御苑の生きもの探し!
開催日時 11月5日・6日
自然環境計画課ブース 愛媛県

クエスト達成!!

ブースに戻って「MY行動宣言」をしていただく、プレゼントを受け取れます。

11/5 投稿数178件、達成人数57人
11/6 投稿数131件、達成人数41人

10

MY行動宣言の派生版例

農林水産関係アクション版

農林水産省

My 行動宣言 (UNDB-J 農林水産関係アクション)

生物多様性とは、たくさんの生きものがつながりあって暮らしていることです。農業、林業、水産業にかかわる身近な行動により、生物多様性を守ることに繋がります。農業、林業、水産業にかかわる次の中から、あなたにできることを裏面のHPの情報を参考に「MY行動宣言」をして、今日から行動しましょう。

MY行動宣言は、UNDB-JのHP(<http://undb.jp/spread-action/entry/>)からも宣言できます。

2011 2020
国連生物多様性の10年目標

具体例を記載

ACT	活動内容	農林水産分野の活動内容例	農業	林業	漁業
ACT 1 とらえどころ	地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。	地元でとれた農林水産物を食べ、旬のものを味わいます。	<input type="checkbox"/> 地元で取れた農産物を味わいます(地産地消)。	<input type="checkbox"/> 地元の森の恵み(キノコ・山菜・旬やジビエ等)を味わいます。	<input type="checkbox"/> 地元でとれたお魚を味わいます。
ACT 2 ふれよう	自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。	農山漁村へ出かけ、農地・森林・漁場を訪ね、自然や生きものにふれます。	<input type="checkbox"/> グリーン・ツーリズム・農業体験に参加し自然や生きものにふれます。	<input type="checkbox"/> 森林レクリエーション・森林環境教育に参加し自然や生きものにふれます。	<input type="checkbox"/> ブルー・ツーリズム・漁業体験に参加し自然や生きものにふれます。
ACT 3 つたえよう	自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。	農山漁村の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、行事への参加を通して広く伝えます。	<input type="checkbox"/> 田んぼの生きもの調査等イベントに参加し、感想を伝えます。	<input type="checkbox"/> 森で働く人、暮らす人と交流するイベントに参加し、感想を伝えます。	<input type="checkbox"/> 川・海イベントに参加し、感想を伝えます。
ACT 4 まもろう	生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。	農山漁村の生きものや人、文化との「つながり」を守るため、保全活動に参加します。	<input type="checkbox"/> 田んぼ・耕作放棄地の保全活動に参加します。	<input type="checkbox"/> 森林ボランティアや企業等の森づくりに参加します。	<input type="checkbox"/> 魚が生活しやすい環境(藻場)を守る活動に参加します。
ACT 5 こころを込めよう	エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。	生物多様性保全に配慮した農林産物を選んで買います。	<input type="checkbox"/> 生きものマークなどの農産物を選び買います。	<input type="checkbox"/> 合法木材・森林認証・間伐材などの木材を選び買います。	<input type="checkbox"/> エコラベルなどの水産物を選び買います。

MY行動宣言の派生版例



展示ブースでの配布や、農水省が主催するシンポジウムでの配布を行った。

MY行動宣言の派生版例

ダイバー版

関東学生潜水会

関東学生潜水連盟では、一人でも多く環境に優しいダイビングをして頂くように、国連生物多様性「MY行動宣言」のダイバーバージョンを作りました。次の5つからあなたのできることを選んで（複数選択可）生物多様性の恵みを受け続けられるように一人ひとりが「MY行動宣言」をして今日から行動しましょう！

QRコードの方から宣言をお願いします！！

ダイビング用にアレンジ

ダイビングサークルのつながりを活かし、国際サンゴ礁年である2018年にサンゴを守るためにできることを考え、「ダイバー版」のMY行動宣言を作成。また、サンゴ保全活動と5アクションを関係づけた動画も合わせて公開した。関連する動画を公開したり、大学の学園祭等で活用。

MY行動宣言の派生版例

教育施設展示版

(公)日本動物園水族館協会

生物多様性 MY行動宣言 5つのアクション

わたしたちと生きものたちのためにできる

5つのこと

たくさんの生きものが、近いうちに地球からいなくなると言われています

この「5つのこと」がわたしたちと生きものたちのためになるくらしかたです

できそうなものから始めてみてください

1 ふれよう
近所の公園や動物園・水族館・植物園・博物館、ちょっとはなれた森や海。いろんな人と、いろんな季節に、生きものの世界を、そっとのぞいてみることから始めましょう。

2 たべよう
たとえば、季節はずれの時期に冷蔵庫を使って野菜を育てたり、遠くでとれた食べものを選ぶことは、エネルギーをたくさん使うので、温暖化につながります。温暖化によって、ホッキョクグマ・サンゴ・ライチョウなどのすみ場所がなくなってしまうので、できるだけ季節のもの、近くのを食べましょう。

3 えらぼう
たとえば、下のマークがついた商品があります。
海にやさしい
海にやさしい

4 まもろう
たとえば、海の生きものを守るために、海辺の清掃活動に参加しましょう。海や砂浜にゴミが落ちていたり、フミガメがビニール袋を食べてしまったり、海鳥が釣り糸にからまってしまう。だから、海辺を掃除しましょう。

5 つたえよう
ぜんぶ一人でやるのは大変。家族や友だちにも伝えて、みんなで取り組みましょう。

生きものをまもる活動のヒントは、
にじゅうまるプロジェクト → <http://bd20.jp>
いきものぐらし → <http://5actions.jp>
のホームページで探せます。

表現をアレンジ

MY行動宣言の派生版例



COOL CHOICE

「COOL CHOICE」は、環境のため、生活のため、地球温暖化対策です。

例えば、夏の電気をLED灯かまきると、約10%、夏の光を減らして電気を減らします。例えば、自転車やバス、電車で通勤すると、COOL CHOICE(夏)を実践し、地球温暖化対策を実践するようになります。例えば、カーボンフットプリントを削減する工夫をします。

日本の小さな選択の積み重ねが、大きな変化につながります。

COOL CHOICEを実践して、大切な地球を守っていきましょう。

主催団体・お問い合わせ

国連生物多様性の10年日本委員会(UNOD-J)事務局
(環境省自然環境政策国際課自然課 生物多様性推進室)
〒100-8975 東京都千代田区千代田1-2-2
shibank@unod-j.org.jp

国連持続可能な開発目標日本委員会 (IUCN-J)
http://www.iucn.jp
東京都千代田区千代田1-2-2 11F 1101-1102 東京都千代田区千代田1-2-2
Tel: 03-3523-4128 Fax: 03-3523-0129
Email: iud-20-contact@gmail.com

わたしたちと生きものたちのためにできる

5つのこと

やってみたいことに○をがいてね!

1 ふれよう

いろいろな人と、いろいろな季節に、生きものがいるところに行こう

外に出てみると、ムアコンやツツジなど、かえりながら、生きものがいることがわかる

2 たべよう

季節のもの、近くでとれたものをたべよう

近所でとれたものは、運んでくれるより、運ぶためのエネルギーが少なくていいんだ

3 えらぼう

生きものにやさしい商品をしらべよう、えらぼう

買物の仕方を変えるだけで、もっと地球がやさしくできるんだ

4 まもろう

生きものをまもる活動をしらべて、参加しよう

身近な自然環境対策も、生きものをまもることにつながるんだ

5 つたえよう

生きものに会って感じたことを家族や友だちに伝えよう

生きもののこと、地球のことをみんなが伝えようとして、生きやすー地球を作っていく

シートを活用した事例

A. 会社の環境目標としてMY行動宣言を位置付け

会社の環境目標に「MY行動宣言」を実施することを位置付け、全員が宣言することとし、宣言後は自分の宣言を忘れないように、身近な場所に保存するようにした。

社の目標とすることで社長以下全員がMY行動宣言を実施した。

普段から見える机の上等に宣言シートを掲示することで、常に意識して行動することができるのと同時に、身近な取組が自然と繋がり支えになる事が理解できるようになった。

よかった 😊



B. イベント開始前に受付と併せて実施

里山里海にふれあうイベントで、受付の横にMY行動宣言のスペースを設け、受付の流れで宣言してからイベントに参加してもらった。

よかった 😊



受付のすぐ隣に宣言スペースを設けたことで、参加者に確実に宣言してもらうことができた。里山里海にふれあうことが生物多様性の保全につながることを理解してからイベントに参加してもらったため、より自然について考えながら楽しめたと思われる

シート以外の方法による事例

C. シールを貼って皆で文字を完成

生物多様性に関するイベントで「MY行動宣言」の文字をシールで埋めて完成させた。貼られたシールを宣言数としてカウントした。

よかった 😊

皆で一つのを完成させることで、来場者にも実施側にも達成感があった。



D. 葉っぱを貼る宣言で紅葉を表現

アクションごとに色紙で形が違う葉っぱを作り、木の枝に貼ってもらった葉っぱを宣言数としてカウントした。

よかった 😊



葉っぱを貼るだけで宣言になるが、メッセージを書いてくれる人も多く、自然を大切にしている思いがさらに実感できた。宣言が集まると紅葉がキレイに表現され、結果を報告する掲示でも目をひく効果があり、さらにMY行動宣言を広めることができた。

アクションに関係した体験型の事例

E. クイズラリー

動物園内にMY行動宣言の5アクションに絡めたクイズを設け、動物について学びながら宣言できる方法を考えた。クイズラリーの実施を宣言としてカウントした。

よかった 😊

園内を回りながら宣言に参加できるため、楽しみながらMY行動宣言の5つのアクションについて考えてもらえた。筆記がないため、小さな子どもでも簡単に参加できた。



F. イベント体験

「黒糖作り体験」、「ウミガメ観察」、「マングローブ原生林でのカヌー体験」等の体験を通じ、美しい自然を自分が大人になってもまもっていくために何をすべきか等の事後レポートを作成。レポート数を宣言としてカウントした。

よかった 😊

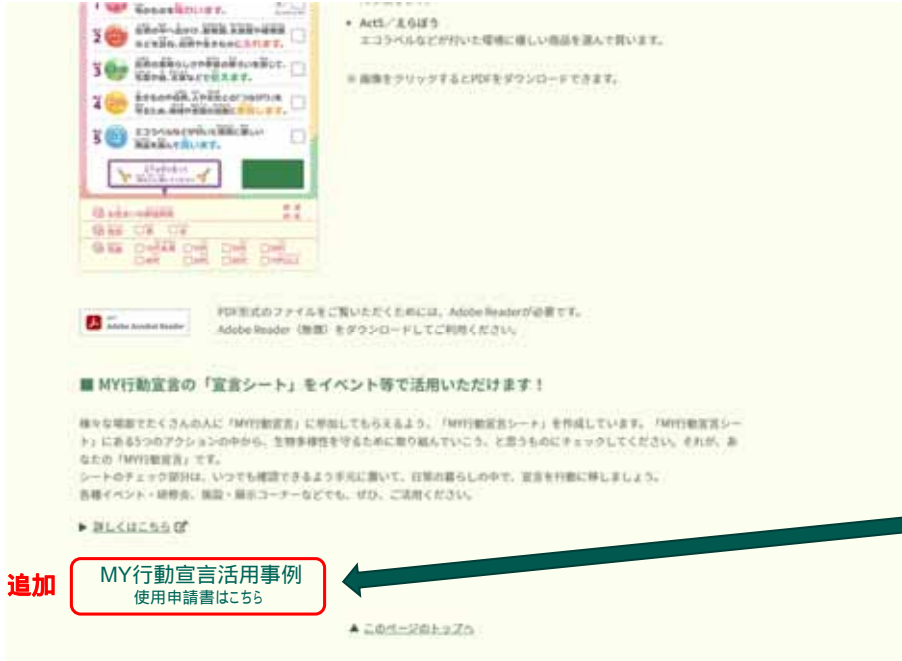


自然の素晴らしさを体験することで、参加した子どもたちは自然をまもっていくことの大切さを強く実感した。また参加したい！と感じてくれる子どもが多く、これからの活動が楽しみになった。

MY行動宣言の活用について

■活用方法について

- ・多くの方に活用いただくために、MY行動宣言の派生版を作成する場合には使用申請書を提出していただくこととする。
- ・使用後は、任意に使用報告書を提出してもらい、事例紹介としてWebページにて使用報告書を掲載する。（派生版以外の活用方法についても好事例を紹介）



J-GBFウェブに事例紹介ページを作成する等して、更なる普及効果を期待。

追加

MY行動宣言活用事例
使用申請書はこちら